


<p>パキスタン・イスラム共和国</p>  <p>緑はイスラムの聖なる色で、国の繁栄を意味する。三日月と星の白は平和を、星は光明と知識を、三日月は進歩と発展を表している。左側の白い部分は少数民族だった東パキスタンの人々を表している。バングラディシュとして独立したが、国旗はそのままになっている。</p> <p>独立：1947/8/14 国連加盟：1947/9/30 政体：連邦共和制</p>		<p>国の概要</p>	<p>首都</p> <p>イスラマバード</p>
<p>国土</p> <p>面積 79万6,000 km² (2.1倍) 北西部から南東部に向かってしだいに高度が下がる地形である。北部にはヒマラヤ、カラコルム、ヒンズークシ山脈が東西に走り、カシミール地方にはK2、ナンガパルパットなど8,000m級の高峰がそびえている。西部のスレイマン山脈、南西部には、バルチスタン高原がある。東部のインド国境にはタール砂漠が横たわっている。国土のほぼ中央をインダス川が貫流し、大平原を形成している。南東部にはタール砂漠がある。</p>			
<p>人口</p> <p>1億5,790万人</p>			
<p>言語</p> <p>ウルドゥー語(公用語)、英語</p>			
<p>通貨</p> <p>パキスタン・ルピー</p>			
<p>気候</p> <p>国土の大部分は亜熱帯の乾燥気候で、北部は山岳気候、南部の平野では温帯モンスーン気候である。降雨は夏季に集中し、冬季にはほとんどみられない。6～7月には猛烈な砂嵐が吹く。</p>			
<p>民族</p> <p>パンジャブ人66%、シンド人13%、バシュトン人9%、バルーチ人3%</p>			
<p>宗教</p> <p>イスラム教スンニ派77%、イスラム教シーア派20%、キリスト教、ヒンズー教</p>			
<p>教育制度の概要</p>	<p>学校体系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(5～9歳)、中学校(10～12歳)、高校(13～14歳)で、高校卒業後、試験に合格すれば、カレッジさらに大学へと進む。 ・その年の4月1日までに満5歳になる者は、その年の4月1日に小学校の第1学年に入学する。 	
	<p>義務教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育制度がない。 ・公立の小・中・高校には希望すれば誰でも入学は可能であるが、経済的な理由から、子どもが貴重な労働力となっているため、就学率はきわめて低い。この傾向は地方に行くほど顕著である。 ・近年パンジャブ州政府やシンド州政府は、就学率を高めるため、地方在住者の子女を無償で入学できるようにした。特に、就学率の低い女子の就学をメディア等を通じ呼びかけて 	

		いる。
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学校年度は4月1日に始まり翌年の3月31日であり、3学期制である。1学期は4月8日～9月12日、2学期は9月13日～12月5日、3学期は12月6日～3月18日となっている。 ・公立の中学校以上はすべて男女が別になり、教師も男子生徒には男性、女子生徒には女性が指導することが多い。 ・都市部の私立校では男女共学が一般的でかなり開放的である。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の結果に基づいて学校の選択が行われる。 ・経済的な理由から大学へ進学する者は少ない。 ・医学部・薬学部・工学部などは非常に難関で進学率はかなり低い。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就園義務はない。また、公立の幼稚園はない。私立の幼稚園では対象年齢を3歳～5歳としている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公立と私立の学校があり、私立は大都市を中心に、公立は各地方を中心に設置されている。私立は一般的に設備、教具が充実しており、教育内容や教師の質も高い。しかし、大部分を占める低所得者層の子どもたちは公立校に就学することもままならず、裕福な階層の子どもたちとの学力差は拡大するばかりで、国の社会制度にも大きく影響を与えている。 ・農村部では、小学校に通っている子どもの数は、就学年齢児の半数にとどまり、せっかく就学しても、その半数は中途退学するケースもある。子どもたち（特に女の子）が学校に行かない理由は、児童労働（家庭労働と農業で顕著）、文化的慣習、小学校までの距離の遠さ、学校での衛生施設の未整備（女子トイレがないなど）、安全確保の難しさ、教師一人当たりの生徒の数が多すぎる。
学校生活	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日出欠をとる。無断欠席を6日間行くと自動的に退学させられることがある。 ・年に4回テストがあり、特に進級テストは重要で、小学1年生でも合格しないと進級できない。 ・宿題は毎日出される。成績評価は親に通知される。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食はない。
	校則	<ul style="list-style-type: none"> ・制服とバッジを着用する。

生活習慣等	宗教上の忌避事項	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教徒がしてはいけないことは、お酒を飲むこと、豚肉や死肉を食べること、アラーやムハンマドの像を作り拝むこと、女性が肌や髪の毛を人前で出すこと、死者を焼くこと、不倫や姦通すること、賭け事をする事、イスラム教徒の女性がイスラム教徒以外の男性と結婚することである。 ・イスラム教徒がしなくてはならないことは、五行といい、①喜捨：貧しい人に自分の財産を分けること、②断食：ラマダン（断食）の月には、太陽の出ている間には飲食をしないこと、③お祈り：1日5回決められた時間にメッカの方を向いてお祈りすること、④巡礼：一生に一度はメッカにお祈りにいくこと、⑤信仰の告白：自分自身がイスラム教徒であると神に言うことである。神は唯一である。
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・インドと違ってガラムマサラを多用したカレーは種類が多い。ヤギをはじめ、ラムや牛の脳みそ入りのカレーもある。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さに適した工夫のある民族衣装「シャルワル・カミーズ」を着用している。 ・カラチには、日本のような上下水道システムがない。だいたい週1回、地下タンクにいっぱいになるところの水がラインからやってくる。その水をポンプで屋上のタンクに汲み上げ、それを落として使う。足りない場合は、買わなければならない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・日本については、パキスタンと友好関係にある先進工業国との知識や、国民が勤勉で礼儀正しいといった印象を持っている。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の子どもたち・・・・・・・・・・・・・・・・ユニセフ
- ・ありがとう パキスタン・・・・・・・・カラチ日本人学校 梅田 竜二
- ・ボポット ボポット シュークリア・・・・・・・・イスラマバード日本人学校 安田 幸典
- ・世界の郷土料理・・・・・・・・・・・・・・・・KDDI